

令和元年度（2019年度）高校生交換留学促進事業

留学生現地レポート

I FOUND THE DIFFERENCE!

Hokkaido/Alberta student exchange program **2019-2020**



令和元年（2019年）12月27日発行
北海道教育庁総務政策局教育政策課

現地リポーター（留学参加者）

〈滞在期間 令和元年 11 月 17 日～令和 2 年 1 月 12 日〉

- 1 滝川高校 2 年生（Spruce Grove Composite in Spruce Grove）
★ スプルースグローブコンポジットハイスクールの男女共用トイレ
- 2 札幌国際情報高校 2 年生（Memorial Composite HS in Stony Plain）
★ アイスホッケーの人気
- 3 札幌月寒高校 2 年生（Harry Ainlay HS in Edmonton）
★ 学校での教育の違いについて
- 4 苫小牧東高校 2 年生（Harry Ainlay HS in Edmonton）
★ NHL（アイスホッケー）観戦～エドモントン・オイラーズ
- 5 登別明日中等教育学校 4 回生（Western Canada HS in Calgary）
★ お酒に関する違い
- 6 函館中部高校 2 年生（Bishop Carroll HS in Calgary）
★ カルガリー市で気づいたこと
- 7 旭川北高校 2 年生（Medicine Hat HS in Medicine Hat）
★ 多様性への寛容さ
- 8 帯広柏葉高校 2 年生（Harry Ainlay HS in Edmonton）
★ カナダの高校の設備
- 9 鹿追高校 2 年生（Jasper Place HS in Edmonton）
★ トイレの違い
- 10 釧路湖陵高校 2 年生（Lindsay Thurber Comprehensive HS in Red Deer）
★ レッドディアの図書館



1 滝川高校2年生

★ スプルスグローブコンポジットハイスクールの男女共用トイレ

私が通っている学校には男女共用のトイレがあり、LGBTの人が使いやすいトイレになっています。

このトイレはLGBT以外の人でも使えるので、“LGBT専用のトイレ”とならずにとってもいいと思います。

個室に入ってみると壁や扉が分厚く、鍵もしっかりしていて、プライバシーの侵害もないです。



日本にもこのようなトイレが増えれば、LGBTの人が暮らしやすい社会になっていいと思います。

2 札幌国際情報高校2年生

★ アイスホッケーの人気

冬のスポーツ、競技を見るとしたら、皆さんは何を見ますか？

スキージャンプ、スノーボード、カーリングなど様々な競技がテレビで放送されていますよね。中でも、フィギアスケートを見る日本人は多いのではないかと思います。フィギアスケート界では数多くの日本人選手が活躍しているので注目度が高く、テレビでは大きく宣伝をし、放送することが多いので目にする人が多いため、人気が高い冬の競技ですよ。



私のホストファミリーは、とてもホッケーが好きなのでリビングではよくホッケーのゲームがかかっています。ですが、フィギアスケートをカナダに来てから一度も見ていなかったの、不思議に思い尋ねてみたところ、「理由は特にないけど、好きではない。」と言っていました。フィギアスケートがものすごく好きな人は、見るそうですがとても少ないそうです。

日本では、アイスホッケーはたまに放送されているのを見ますが、みんなが熱狂しているというイメージはとても薄いです。

どちらも世界中で行われている競技ですが、地域が違っているとこんなにも人気の差があるのだと感ずることができました。



先ほど皆さんにした質問をカナダで尋ねると、おそらく皆、ホッケーと答えると思います。カナダのスポーツチャンネルでは、冬になるとほぼ毎日のようにホッケーの試合の様子が放送されています。カナダでは、女の子も男の子も誰もが小さい頃は習いたいスポーツがホッケーだと言っていました。そして街には、スケートリンクがあるので、小さいころから滑れる子供たちが多いそうです。冬には、スケートリンクに限らず家の近くの広場などでボールを使って遊ぶこともあり、夏には、草の上でホッケーをするほど、国民的なスポーツなのです。



3 札幌月寒高校2年生

★ 学校での教育の違いについて

・時間割の違い

日本で通っている高校は曜日によって異なるが、1日6~7時間制で午前4コマ、午後に2~3コマある。対して、私がカナダで通っている Harry Ainlay 高校は1日4時間制で、1コマ約70分の授業が午前・午後に各2コマずつある。

さらに時間割も特殊で、Harry Ainlay 高校ではA・B二つの時間割があらかじめ決められていて、月曜日はA、火曜日はBといったように交互に使用する。

・教科の違い

Harry Ainlay 高校では基礎教科の他にアート、バンド、ギター、コンピューター、フードなど様々な種類の授業があり、生徒個人の興味に沿った選択ができるよう専門的な科目が幅広くある。そして、その中から自由に選択することができる。

また、私の高校では留学生や移民など様々な人種の人が多いので ESL という英語を母国語としない人のための授業があり、その中でレベル分けもされているなど、英語教育のサポートが充実している。カナダの学校は基本的に単位制のため、12年生までの単位を早く取得できると、スペアという空き時間ができ、自由に時間を過ごすことができる。そのため、知り合いには6つもスペアがあるという人もいる。

・まとめ

カナダと日本の教育についての大きな違いは、カナダの学校教育は、得意分野を集中的に伸ばすことができることである。日本では皆、平等に同じ教育を受けることができるが、個人の得意分野への興味・関心を深めるには、学校とは別の場所で学ぶ必要がある。

Day	Terms	P1	P2	P3	P4	AM	AS	TUT
A	19-20	Japanese Language & Culture- 3Y 19 JLC10970.1 Ito, Daniel Room: 331 P1(A) 19-20	Instrumental Music 10 FNA1424.1 Speers, Rob Room: 208 P2(A) 19-20	ESL Level 2 ESL1121E.1 Radcliffe, Jelena Room: 392 P3(A-B) S1	Introductory Com Technology TSA3355-36 Walker, Jordan Room: 224 P4(A,B) S1			
	S2							
B	19-20	Japanese Language & Culture- 3Y 20 JLC20970.1 Ito, Daniel Room: 331 P1(B) 19-20	General Music 10 FNA1424M.2 Firth, Joel Room: 142 P2(B) 19-20	ESL Level 2 ESL1121E.1 Radcliffe, Jelena Room: 392 P3(A-B) S1	Introductory Com Technology TSA3355-36 Walker, Jordan Room: 224 P4(A,B) S1			
	S2							

これらの要因を、カナダでは多様な人種が社会を構成しているため、個人のルーツや趣向を尊重できる教育制度になっているのではないかと推測する。また、カナダでは人がどう生きるかや個人の独立を社会で求め、一方、日本ではチームワークや協調性を求めているので、こんなにも学校の制度などが違うのではと思った。

私は子供が自由に教育制度を選択できる環境があったら良いと思う。日本の様な環境で学び、生活をしたいのか、北米のような環境が合うのか。自由な選択ができるようにするためには、日本の子供達には早期からの英語教育・環境を与える必要があると思った。

4 苫小牧東高校2年生

★ NHL（アイスホッケー）観戦～エドモントン・オイラーズ

NHLはアイスホッケー界最高峰のリーグであり、北米の4大スポーツの一つとして数えられます。

また、ダイナミックな音響やプロジェクションマッピングを駆使し、終始観客を熱狂させる一つのエンターテインメントとなっており、その規模は日本のアイスホッケーとは計り知れない違いがあります。

エドモントン・オイラーズの本拠地である「ロジャーズ・プレイス」は、エドモントン市内の主要部であるダウンタウンに位置し、収容人数は18,641人。1998年長野オリンピックの際の「ビッグ・ハット」の収容人数がおよそ8000人であるのに対し、いかにアイスホッケーがカナダの国民的スポーツである事が見て取れます。



試合中は、天井からぶら下がる4面ビジョンに豊富な演出が施され、例えば「smooth cam」（キスカメラ）とカップルを映し出したり、「エア・カナダ」から選ばれた観客にラスベガス行きの航空券をプレゼントするなど、場内をヒートアップさせていました。

さらに、ピリオド間のインターバルではバンドの演奏や、企業の広告も兼ねたイベントとして、チアリーダーがTシャツやマフラーなどのプレゼントを観客席に投げ入れたりし、観客を飽きさせない工夫がなされています。

これらには、日本のアイスホッケー新興への大きなヒントがあるように思います。是非、日本の皆さんにアイスホッケー観戦の魅力を知って欲しいです。

5 登別明日中等教育学校 4 回生

★日本とカナダのお酒に関する違い

日本とカナダのお酒に関する違いを紹介します。

アルバータ州ではお酒をスーパーマーケットやコンビニエンスストアでは購入できません。お酒だけを売っている店で買う必要があります。日本のようにお酒の自動販売機や、スーパーにお酒が並んでいることはありません。

理由は、未成年の飲酒を防ぐためです。そのため、お酒を売っている店に入れるのは飲酒が法律で許可されている 18 歳以上の人は、子どもは大人が同伴していないと入ることができないそうです。この、スーパーにお酒を置いてはいけないという決まりは、アルバータ州政府によって決められているものです。



この話をホストマザーから聞いたときは、とても驚きました。未成年の飲酒を防ぐために日本よりも制限が多いことを知り、感心しました。(写真上がお酒専門店、下がスーパーです)

6 函館中部高校2年生

★ カルガリー市で気づいたこと

カナダのカルガリー市で1ヶ月過ごしてみて、私が驚いたことの1つにゴミ分別の意識の高さがあります。お店や路上のゴミ箱を利用するとき、友達同士で当たり前のように「これはリサイクルできるかな」「それはコンポストだと思う」というような会話をよく聞きます。自然にここまで細かくリサイクルについて考えているのは素敵な事だな、と感じました！

【店の外に設置してあるコンポスト専用ゴミ箱】



またカルガリー市のゴミ回収も一味違いました。家の外に大きな籠を数種類おいておき、そこに分別して入れておいたゴミを指定日に中身だけ回収してもらう、という流れでした。また分別の種類の中に compost という項目があり、これは自然に分解されるもの（主に生ゴミや紙ナプキン、木の枝や葉等）を回収して最終的に畑用の肥料にするそうです。この時少量ずつ袋に入れて捨てる場合、紙袋かコンポスト専用の（生物分解性のある）袋を使わなければいけないと聞きました。

【カルガリー市のゴミ回収日に籠を道路に出している様子】



どんなゴミを捨てる時もプラスチックのゴミ袋を使わないことや、生ゴミまで徹底的に再利用している点は環境にも優しくて見習いたいポイントだと思いました！

7 旭川北高校2年生

★ 多様性への寛容さ

カナダはLGBTにとっても優しい国ということを私はカナダに来て強く感じました。

私の学校にはLGBTのステッカーが各教室に貼ってあります。さらにはLGBTの象徴であるレインボーフラッグもステッカーとして貼られています。



先生によるとこのステッカーは、彼らにとって学校は安全な場所であることを伝えるためにあり、さらに、私達はどんな人でもこのクラスに受け入れるという姿勢を示すためのものという意味があるそうです。実際にトルコ出身の友達でLGBTの避難から逃れるためにカナダに来たという子もいました。



また、毎年夏になるとカナダ各地で「プライドパレード」が開催されます。「プライドパレード」とはLGBTの文化を讃えるためのイベントで、多様性を意味するレインボーカラーを中心に様々な派手なコスチュームを着た人達が行進します。私のパートナーもこのパレードに参加したことがあり、とても楽しかったと言っていました。

さらに、パートナーによるとLGBTの旗はレインボーフラッグ以外にも、約30種類の旗があるそうです。この中にはレズビアンだけを意味する旗や宗教で使う旗、国によって作られた旗などがあります。

私は、カナダがありのままの自分を表現して人生を楽しめる国ということを感じることができました。

8 帯広柏葉高校2年生

★ カナダの高校の設備

私の通った高校には日本の高校とは異なる点が多くあります。

ひとつは授業を受ける教室が毎回変わるため、決まったクラスに荷物を置く、ということがなく廊下に設置されたロッカーを使うことです。誰がどのロッカーを使っているのか、使用されているダイヤル式ロックのパスコードなどの情報がコンピューターで管理されています。1人ひとつ与えられたロッカーには、写真が貼られていたり、誕生日にはロッカーがデコレーションされていたりしていました。

2つ目は、ほぼ全ての教室にプロジェクターとスクリーンが配置されていることです。先生が手元で書いているところを拡大して投影してくれるため、とても見やすいです。パワーポイントや動画、イメージ画像などもすぐに見ることができるので、話を聞くだけでなくビジュアルとして印象に残る授業を受けられます。

3つ目は、生徒が自由に利用できるコンピューターが図書館にあることです。ノートパソコンの貸し出しもあり、アカウントやパスワードが発行されていれば、誰でも好きな時間に使えます。この高校では課題や宿題がスマホやパソコンなどのネット上に与えられるため、多くの生徒がそこで課題を行なっています。



4つ目は、校内に設置されたウォーターファウンテンです。押せば水が出てきて直接口から水を飲むウォータークーラーは日本でも見かけますが、カナダのウォーターファウンテンは水筒を置けばセンサーが感知して水を注げる、というものが一体になっています。日本の高校にもこれがあればとても便利だと思います。

デジタルを上手く利用して整備された学校環境は日本の高校ではなかなか見られません。ですが、日本でもこのような設備を整えれば、もっと生徒と教師が快適に学校生活を送ることができるのではないかと思います。

9 鹿追高校2年生

★ トイレの違い

日本のトイレは盗撮などの危険があるためドアとドアの隙間はありません。しかしカナダのトイレは外から中が覗けるほどの隙間が空いています。ドアの隙間も空いていますが下の部分は人がくぐれるほど空いています。

隙間が空いている理由は安全性の確保のためです。個室で人が倒れてないか、拉致されていないかなどから隙間を開けているらしいです。



また、日本ではだいたい手を洗った後にハンカチやズボンで手を拭きますよね。カナダでは違いました。カナダのトイレにはハンドドライヤーが付いています。日本にも付いている学校があるかもしれないがあまりないと思います。ほとんどの人がハンカチなどを使わずにハンドドライヤーで手を乾かしています。

自分の印象ではカナダの人は濡れた手をズボンで拭くということを嫌がるように見えました。ハンドドライヤーが壊れているトイレではトイレットペーパーで拭いていました。

初めは隙間が空いていて安心してトイレができなかったが隙間が空いている理由を知り安心できた、そして日本も安全性を考慮できる環境になってほしいと思った。そして日本との違いの一つ一つに意味があることがわかった。

10 釧路湖陵高校2年生

★ レッドディアの図書館

僕が着目した点は図書館のシステムです。僕がホームステイをしているレッドディアでは、一般的な本、雑誌、CDの貸し出しの他にゲームソフトも貸し出しており、図書館内部には市民の寄付で集まった本屋さんがあるので、比較的状态の良い古本を格安で買うことができます。



ゲームソフトを貸し出す理由を様々な人に聞いてみたところ、単に本やCDだけではなく、ゲームソフトも公共の財産として扱っている考え方が多く感じられました。

公共の財産の範疇が日本とはかなり異なっていて、真面目なものの中にカジュアルなものが混ざった面白い例だと思います。